

◆◇ 第1号議案 ◇◇

令和4年度 事業活動報告 ～この1年間の取り組み

I 旭川市からの受託事業

1 障害者スポーツ関連事業について（旭川市受託事業）

(1) スポーツ部会

委員会:4月4日、8月1日

委員:矢島勇作(部長)、速水修、深田清三、丸山周三、増井智子、中村秀也
阿部龍雄、石田彰弘、芳野輝政、森山由香里、

(2) 事業内容

令和4年度 旭川障害者連絡協議会 事業状況						
事業名		実施予定日		場所	参加人数	備考
旭川市障害者スポーツ教室	水泳教室	5月開催	5月11日 ～6月1日	水浴訓練室	のべ 29人	各全4回 毎週水曜日実施
		10月開催	10月5日 ～26日		のべ 37人	
	軽レクリエーション教室		8月28日	体育館	21人	モルックの変則リーグ戦
	レク・ボッチャ教室		2月12日		18人	レク・ボッチャ
	スカットボール教室		3月19日			スカットボール他
旭川市障害者スポーツミニフェスタ		9月25日		体育館 会議室1	70人 (参加者+ スタッフ)	午前中に縮小。3種目実施 実行委員会形式
旭川市障害者水泳記録大会		10月25日 11月5日		水浴訓練室	6サークル 39人	水泳サークルの活動日に実施記 録等の役員を派遣
旭川市障害者スポーツ関連周知事業		8月～3月		各種障害者スポーツ全道大会等の情報発信		
※全道大会						
		夏季スポーツ大会		6月18日	網走	7人参加
		水泳大会		9月11日	札幌	5人参加
		卓球大会		11月20日	札幌	19人参加
		フライングディスク大会		9月25日	札幌	中止
		ボッチャ大会		8月28日	江別	中止
		冬季スポーツ大会		2月25・26日	網走	中止
		ハンディーキャップスキー大会		3月19日	札幌	14人参加

2 障害者週間記念事業

(1) 文化部会

委員会:8月28日・9月30日・10月8日・10月29日

委員:武田久子(部長)、大内 祥一、加藤 健二、浅野 眞一、大塚 明子、中林 利正
藤中 洋子

(2) 実施内容

令和4年度 旭川市障害者週間記念事業実施 結果報告書

1 「記念事業」の開催目的

12月3日から9日までの「障害者週間」を機会に、地域共生社会の実現の促進を図ることを目的として、健常者や色々な障害を持つ様々な立場の人たちが障害者問題についてともに考える機会を提供するために、広く市民に知ってもらい記念事業を実施する。

2 今年度の考え方

(1) 今年のテーマ

- ・昨年3月、旭川市が「旭川市地域共生社会の実現に向けた施策の推進に関する条例」を制定したことから、市民が地域共生社会への理解を深め、それぞれの立場での責務を認識し、行動へと結びつく内容とした。
- ・テーマを「地域共生社会の実現に向けて」とし、記念講演を行った。

(2) 障連協の取り組み方について

障害者自身においても、地域共生社会の理解を深めるため、障連協の内部研修と位置づけて、各団体から2～3名の出席を協力依頼した。

3 令和4年度の実施内容 事業日程 別紙参照

(1) 実施日時

ア日時：令和4年12月4日（日）12時00分～15時30分

イ場所：旭川市障害者福祉センター おびった メイン会場 体育館（参加人数約150名程想定）

(2) 来場者数

一般来場者 120人（各団体の参加者含む） 実行委員・ボランティア 50人 合計 170人

(3) 実施内容

ア開会式 13時05分～13時25分（20分）

イ記念講演 13時30分～14時50分（80分）

○テーマ 「地域共生社会を考える」

○講師 長濱 章雄 氏 旭川大学 保健福祉学部コミュニティ福祉学科 教授

ウアトラクション 12時30分～13時00分（25分） 神楽岡太鼓保存会

エその他の実施内容

- ・障害者就労事業所の作成作品の展示販売 5事業所等
- ・記念パネル展示 旭川市障害者福祉センター「おびった」及び旭川市役所本庁舎。

(4) 主催等 主催：旭川市 事業実行者：NPO法人 旭川障害者連絡協議会

後援：旭川市社会福祉協議会

3 旭川市障害者福祉センター指定管理事業

(1) 施設管理とサービス向上

- ア「みんなの声」投書の中で実現可能な要望は、直ちに実行する
毎月投書箱を確認し利用者の声を出来る限り反映できるよう意見を検討している
- イ 早期点検、計画的にメンテナンス等により保守点検コスト削減を行うと共に、施設内機器を良好な状況に保ち、職員のコスト削減意識を持たせる
- ウ 役職員の職場研修の実施

(2) 利用状況

ア利用人数

	団体利用		個人利用		合計	
	今年度	前年度比	今年度	前年度比	今年度	前年度比
障害者等	29,167	9,511	14,260	3,256	43,427	12,767
一般	15,175	6,465	23,884	4,719	39,059	11,184
合計	44,342	15,976	38,144	7,975	82,486	23,951

イ利用料金

	今年度	前年度比
障害者等	2,225,600	685,040
一般	5,583,350	1,638,100
合計	7,808,950	2,323,140

ウ減免金額

	今年度	前年度比
障害者等	1,026,220	186,650
一般	73,440	19,890
合計	1,099,660	206,540

(3) 防犯、防災

ア 防犯対応

- ①夜間・休日の機械警備を継続実施。
- ②日中、職員による定時点検確認作業
防犯対応については、計画通り①・②ともに良好に行われている。

イ 防災対策

- ①当該センター消防計画の策定及び防火対象物点検を実施する。
- ②事故の無いよう事前の消防訓練等実施(年2回以上)
- ③AED使用の自主訓練(随時)

II 自主事業関係

1 広報事業

(1) 広報部会

委員会: 12月28日
委員: 川村和恵(部長)、巻下理奈、中村幹子、
場所: おびつた3階 相談室2

(2) 障連協にゅーす

47号・48号の発行。

(3) ホームページにより下記の内容が随時更新

アドレス <http://shourenkyo.org/>

- ①活動紹介＝解説以来の行事の紹介
- ②障害者スポーツ大会関連情報＝全国・全道レベルの障害者スポーツ大会の情報提供
- ③ボランティア募集＝各事業に合わせて随時募集情報を提供する
- ④障連協にゅーす＝PDFファイルで1号から46号まで閲覧可能
- ⑤障害者スポーツバンク＝市内の9団体の活動内容が閲覧可能
- ⑥新着情報＝各行事等の情報発信

2 清掃事業

- ・旭川市競争入札参加資格者に登録 令和3年7月9日付
令和4年度の市施設からの清掃業務入札指名 8施設

3 総務部会関係事業

- ・新年交礼会の検討、今年度は新型コロナウイルス感染防止の為、中止としました。

総務部会

委員会:
委員: 岡田美幸(部長)、長谷川優司、大山嘉孝、北野和彦
理事長・副理事長・事務局長

III 要望事項及び共同行動

1 要望事項

- (1) 情報・コミュニケーション法(仮称)制定を目指し要望
- (2) 旭川市自立支援協議会の充実・強化
- (3) 成年後見制度の支援
- (4) 障害者雇用・生活支援センターの支援
- (5) 公共施設等の清掃や公園管理への参入
- (6) 旭川障害者計画のバリアフリー公営住宅の拡充。単身者も含む。
- (7) 地場産品販売施設計画への加入

※各項目とも協働行動や意見交換会を通じて要望支援等を継続に行っている。

2 協働行動

参加委員会等	推薦委員		任期
(1) 旭川市社会福祉審議会委員	松山理事長	上田育成会事務局長	R6.5.9
(2) 旭川市障害者自立支援審査会委員	青山副理事長	高畑身障協会会長	R7.3.31
(3) 旭川市社会福祉協議会理事	神田事務局長		R5.6 R5
(4) 旭川市福祉有償運送運営協議会委員	神田事務局長		R7.3.31
(5) 旭川市特別支援教育推進懇談会	父母の会	自閉症児者親の会	R7.3.31
(6) 旭川市防災会議委嘱委員	松山理事長		R7.3.31
(7) 旭川市共同募金委員会評議員	松山理事長		R7.3.31
(8) 旭川成年後見支援センター運営委員会委員	青山副理事長		R7.3.31
(9) 旭川市包括的支援体制整備検討会委員	神田事務局長		R5.6